

研究室名

生体機械システム研究室

主な研究内容と目指す将来像

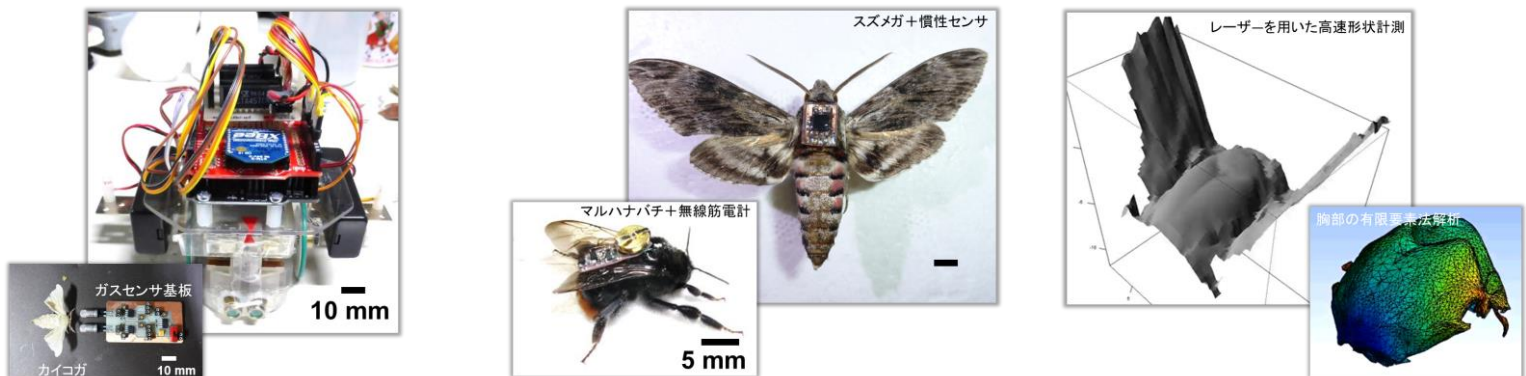
生物の運動や行動のしくみを様々な視点から解明し、「生物らしい動き」を機械で再現することを目指して研究を行っています。生物学の知見を新しいものづくりに結び付け、環境に適応できる機械、そしてヒトと調和できる機械を創造します。

研究キーワード

バイオメカニクス／神経行動学／生物模倣／ロボット／昆虫

研究の魅力・面白さ

- ✓ヒトが作る機械とは異なる進化の歴史を持つ生物は、新しい発想の宝庫です。
- ✓生物を調べ、機械を作ることで、生物と機械の違いと共通性に気づくことができます。
- ✓誰も知らなかったことを発見し、誰もできなかったことを実現することが研究の一番の魅力・面白さです。



受験生へのメッセージ

システム生体工学科で学ぶ幅広い知識は、医療・福祉といったヒトへの応用だけでなく、本研究室のような基礎科学分野にも絶大な威力を発揮します。ぜひ工学を学んで生物を眺めてください。

連絡先

ando@maebashi-it.ac.jp